

ソールについて

クリーンルーム内における長時間の作業は、足に相当の負担をかけることとなります。スーパークリーンシューズは、疲労を和らげるため、「素材」「形状」「構造」という3つの面から、クッション性の向上を図っています。

素材

ソールは特殊配合ウレタン素材仕様。素材自体の柔軟性と、素材が内包する細微な気泡を持つ弾力を融合、さらにソールの厚みを増すことによって、私たちが描く理想のクッション性を実現しました。

形状

ソールのヒール部分には、着地圧力を和らげる従来からのランディングカットの考え方に加え、サークルポイントを施し、形状からも弾力性を生み出しました。

構造

足の裏との接触面は柔らかく、足の骨格を支える土台は変形しにくく、そして接地面は弾力に富んでいる。こんな構造のシューズが人の足に快適な印象を与えられているとされています。スーパークリーンシューズには、足との接触面に柔らかいドライナー素材、土台となる支持層はしっかりとウレタン素材を使用。新ソールパターンを施し、着用者に快適感を提供しています。

ソールパターン

グレーチングと接するソールのパターンには、優れたクッション性、防塵性、運動性、安定性が求められます。スーパークリーンシューズのソールには、歩行中、加重の作用点となる4カ所にサークルポイントを施し、これらの性能をすべて向上。安心できる、軽快なフットワークを可能にしました。

セミアブリック・トウ

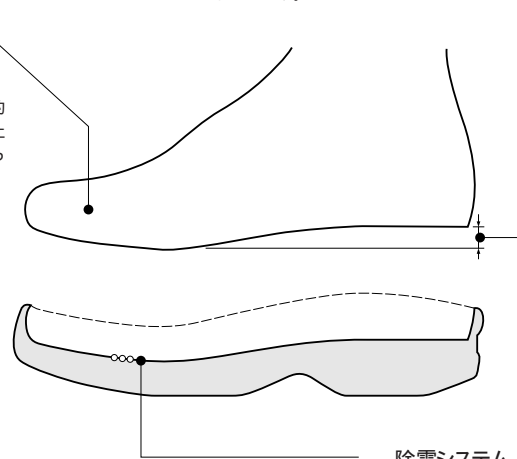
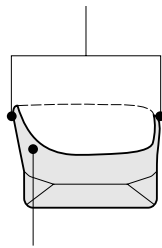
爪先、特に小指辺りにゆとりを持った形状で、足に窮屈感を与えません。(足先図参照)

ヒール公差

爪先よりヒールのソールを14mm厚くすることにより、安定した姿勢を保てます。バランスを取るための過分な力を抜くことができ、スムーズに歩ける利点があります。ソールの厚さは爪先が12mm、ヒールが26mmとなっています。

スタビライザー

ヒールの補強、足の安定を主な目的に採用されています。アッパー立ち上がり部分の形崩れを防ぐ役割も担っています。



アーチサポート

踵、親指の付け根、小指の付け根の3点は、重心をバランス良く保つ基点となっています。また、この3点を結ぶラインは運動機能に重要な「3点アーチ」と呼ばれるアーチを形成し、バネの様な役割を果たしています。アーチサポートは、長時間の立位作業等から起こる内側アーチ機能の低下を補い、運動機能の維持と疲労の軽減に効果を発揮します。

除電システム

踏み付け部のアースポイントから導電ラバー、制電配合ウレタンソールを通じて確実に除去します。[導電性能はJIS T8103(静電気帯電防止用安全・作業靴)適合]

サークルポイント

小指の付け根、親指の付け根、親指の先は特に運動の基点となる部分。ここに横滑りせず、回転しやすい意匠を施すことによって、歩いたり、曲がったり、止まったりする際、スムーズな動きができるようになります。

特殊配合ウレタン

摩耗や曲げに強い優れた基本物性を持つ特殊配合ウレタンを使用。軽量でクッション性に優れた最適な発泡構造。機能的なソール形状・ソールパターンに相乗した軽快でかつ、安定した足回りを実現するスーパークリーンシューズのコア技術です。

ヒールサークルポイント

歩行中、踵は最も先に地面と接する部分です。ここにサークルポイントを設けることによって衝撃を吸収するほか、軽量化にも役立っています。

ランディングカット

着地する際、最も先に地面と接する部分をあらかじめ斜めにカットしておくことによって、スムーズな動きができます。また、粉塵の発生を抑える効果もあります。

